

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「誰かのために」

栃山神小学校卒業式…4・5年生12名先生1名
演奏する「威風堂々」の曲で、5名の卒業生が
入場。素直で心にスーッと届く音色…こんなに
優しい「威風堂々」があってもいいな…とホロリ
安田校長先生の式辞から

「看護師」・「保育士」・「猫カフェのオーナー」・
「野球選手」・「絵師」…卒業生の夢です。
それぞれが、誰かを助けたり…励ましたり
、誰かに…夢や希望をあたえられる…
そういう大人になりたい…と。

そういう大人になれるためには…として、
「ダーウィンが来た」…のエンディング曲、
平原綾香さんのやさしく透きとおった声、
「スマイルスマイル」が、ながれました。
そして、「誰かのために」という、校長先生
の言葉が、最期まで胸にのこりました。
誰かのためになれる大人にと、校長先生の
あたたかく…力強い…贈る言葉でした。

新中学生おめでとうございます。
悩んだり…迷ったりした時…まわりを
見てみてね。 あなたの手を必要と
している誰かさんが…きつといいます。

新聞の投書欄～

「妻が病気になって、慣れない料理や
掃除をやるようになった。

やってみて…どれだけ大変なこと
かわかった。手は荒れてくるし…。
何十年間も手作り料理で支えてく
れた妻のおかげで今がある。これ
からは、妻のためにがんばる」と。
そうね、最近よくきく話ね…と、思
いながら読み…最期に年齢をみて
ビックリ。 エッまさか…老眼鏡を
つけて確認…まちがいない…。

その男性の年齢は、「96歳」。

すごいなあ…96歳で…

家事ができる健康な身体力
初めての事に挑戦できる心
妻のために…という思いやり
どんな人生だったのだろう…。

以外と我がままだった？

もともと…やさしかった？

「新しくできあがったから食べて…」と、S子さん
店のカウンターにドサッと置かれた袋…その中に入っ
ていたのは…「凍みモチ」。

カチカチに乾燥していて…軽石みたいなモチ
子どもの頃から食べた記憶はなかった。

食べ方も教えてもらう。

「数時間水につけて水をしぼり…フライパンにうすく
油をひいて、弱火でふたをして…ふわっとなったら、
塩とかしょう油の好きなので食べる」と。

軽石がふわ～とろ～に…。 砂糖しょう油で食べたら、
おいし～い。 すごいな…伝統の保存食です。
一番寒い冬に作るんですよ…。 感謝…感謝。

ぬくもりがとどきてうれし春日和



木イチゴの花 花言葉は「謙遜」